I·O DATA

必ずお読みください

B-MANU200180-01

PDI-B912/CAG

必ずお守りください

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
お使いの際には、必ず記載事項をお守りください。

■絵記号の意味

△ この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）「発火注意」を表す絵表示

⃠ この記号は禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）「分解禁止」を表す絵表示

● この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

充電端子やその他接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにする
感電・傷害・故障の原因となります。

水・海水・醤油などで濡らさない
電池に組み込まれている保護機構が壊れると、異常な電流、電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因となります。

火気のそばや、炎天下駐車の車の中などでの充電はしない
高温になると、危険を防止するための保護機構が働き、充電できなくなったり、保護機構が損傷し、異常な電流や電圧で充電され、発熱、破損、発火の原因となります。

電池は当社指定の充電器を使用し、指定の充電条件を守る
その他の充電条件（指定以外の温度、指定以外の高い電圧/大きな電流、または改造した充電器など）で充電しますと、発熱、破裂、発火の原因となります。

ストーブなどの熱源のそばに放置しない
発熱、破裂、発火の原因となります。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を追う可能性が想定される内容を示しています。

電池の充電方法については、本書をよく読む

電池の充電温度範囲以外での充電はしない
電池を発熱、破損させる原因になるおそれがあります。 充電：5℃～35℃

保護機構に損傷を与える可能性のある静電気が発生する場所で使用しない
危険防止のための保護機構が組み込まれています。保護機構がこわれ発熱、破裂、発火の原因になるおそれがあります。

直射日光の当たる場所、炎天下駐車の車内など、高い温度になる場所に携帯アダプターを放置しない
電池を漏液させる原因になるおそれがあります。

充放電する
長期間ご使用にならなかった電池は十分に充電されないことがあります。
電池は長期間使用しない場合でも、1ヶ月に一度を目安に充放電を行ってください。

本製品は以下のような場所（環境）で保管や使用をしない
故障の原因となることがあります。
- ●静電気の影響の強い場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温湿度差の激しい場所
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力・電波の発生する物の近く（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機等）
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NOxなど）

<<携帯アダプターのみ>>
- ●振動や衝撃の加わる場所

<<使用のみ>>
- ●本製品に通風孔がある場合は、その通風孔をふさぐような場所
- ●保温性・保湿性の高い（じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所

本製品は精密部品のため、以下のことに注意する
- ●落としたり、衝撃を加えたり、無理な力を加えたりしない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

本製品のコネクタ部分には直接手を触れない
静電気が流れ、部品が破壊される恐れがあります。
また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れ、静電気を逃がした後で行ってください。

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

電池が漏液して液が目に入った時は、こすらずに水道水などのきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受ける
放置すると液により、目に障害を与える原因となります。

電池が漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、こすらずに水道水などのきれいな水で洗い流す
皮膚がかぶれたりする原因となります。

ご使用の接続機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守し、正しい手順で使用してください
警告・注意事項を無視すると人体に多大な損傷を負う可能性があります。また、正しい手順で操作しない場合、予期せぬトラブルが発生する恐れがあります。ご使用の接続機器のメーカーが指示している警告、注意事項、正しい手順を厳守してください。

本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください
火災や感電、やけど、故障の原因となります。修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

本製品を濡らしたり、水気の多い場所で使用しないでください
お風呂場、雨天・降雪中、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。

充電時、所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は充電を停止する
内蔵されている電池が発熱、破裂、発火の原因になるおそれがあります。

火の中に投入したり、加熱しない
絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護機構が損傷するだけでなく、発熱、破裂、発火の原因となります。

本製品は乳幼児の手の届くところに置かない
不用意な取り扱いは危険を伴います。

故障や異常のまま、通電しない
本製品に故障や異常がある場合は、使わないでください。また、電源やACアダプタがある場合は、通電をしないでください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

本製品を病院内で使用しない
医療機器の誤動作の原因になることがあります。

日本国外で使用しない

電池が漏液したり異臭がする時には直ちに火気より遠ざける
漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因となります。

電子レンジや高圧容器に入れない
急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火の原因となります。

本製品を飛行機内で使用しない
飛行機の計器などの誤動作の原因になります。

本製品の使用、充電、保管時の異臭、発熱、変色、変形、その他今までと異なることに気がついたときは、本製品を使用しない
そのまま使用すると内蔵されている電池が発熱、破損、発火する原因となります。

ACアダプタの取り扱いは以下のことに注意する
- ●ACアダプタを使用する際は、必ず添付のACアダプタを使用してください。
- ●電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
- ●ACアダプタをコンセントから抜く場合は、必ずアダプタ部分を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因になります。
- ●電源コードの電源プラグは、濡れた手でACコンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因になります。
- ●ACアダプタの上にものをのせたり、かぶせたりしないでください。
- ●保温・保湿性の高いものの近くで使用しないでください。（じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）
- ●火気のそばや、炎天下駐車の車の中などでの充電はしないでください。高温になると、危険を防止するための保護機構が働き、充電できなくなったり、保護機構が損傷し、異常な電流や電圧で充電され、発熱、破損、発火の原因となります。
- ●ACアダプタは本製品以外の他の用途には使用しないでください。
- ●コンセントや配線器具の定格を越える使い方はしないでください。たこ足配線などで定格を越えると、発熱による火災の原因となります。

本製品を使用する場合は、本製品を接続する携帯電話のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守し、正しい手順でお使いください
警告・注意事項を無視すると人体に多大な損傷を負う可能性があります。また、正しい手順で操作しない場合、予期せぬトラブルが発生するおそれがあります。本製品を接続する機器やそれの周辺機器メーカーが指示している警告、注意事項、正しい手順を厳守してください。

運転者は走行中に本製品を利用しないでください
走行中の利用は事故の原因となります。安全な場所に車を止めてから使用してください。

車載ユニットを車内の以下の場所に設定しないでください
- ●運転や移動の妨げになるところ
- ●同乗者に危険があると思われるところ
- ●不安定なところ
- ●灰皿の上
- ●熱くなるところ
- ●直射日光の当たるところ
- ●前方の視界を妨げるところ
- ●エアコン吹き出し口
- ●エアバッグが飛び出すところ

本製品はしっかり固定してください
走行中に本製品の位置を変えたり、本製品を固定しようとしてハンドルから手を放したりすると事故の原因となります。

本製品で使用する電波について

本製品は、2.4GHz帯域の電波を使用しています。本製品を使用する上で、無線局の免許は必要ありませんが、以下の注意をご確認ください。

■以下の近くでは使用しないでください
- ●電子レンジ／ベースメーカー等の産業・科学・医療用機器など
- ●工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
- ●特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- ●IEEE802.11g/b無線LAN機器

上記の機器などは、Bluetooth®と同じ電波の周波数帯を使用しています。上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。そのため、通信ができなくなったり速度が遅くなったりする場合があります。

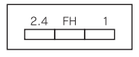
■テレビ/ラジオを本製品の近くでは、できるだけ使用しないでください
テレビ/ラジオなどは、Bluetooth®とは異なる電波の周波数帯を使用しています。
そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信やこれらの機器の通信に影響はありません。ただし、これらの機器をBluetooth® 製品に近づけた場合は、本製品を含むBluetooth® 製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

■間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません
本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラスなどは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されていると通信できません。

2.4GHz帯使用の無線機器について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
- ●この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
- ●万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- ●その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合は、次の連絡先へお問い合わせください。

【連絡先】サポートセンター 【電話】金沢 076-260-3644
東京 03-3254-1144



2.4：2.4GHz帯を使用する無線設備を表す
FH：変調方式を表す
1：想定される与干渉距離を表す（<=10m）
：全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避不能であることを意味する。

使用上の注意

■使用しないときは、本製品の電源を切っておくことをおすすめします
他のBluetooth® 機器からの接続要求に応答するために常に電力を消費します。

■修理について
- ●長時間（6時間以上）の充電はしない
- ●電池は消耗品ですので、保証の対象にはなりません。
十分に充電した電池で使用時間が著しく短くなってきた時は、電池の寿命です。使用状態によって異なりますが、約300回繰り返し充電ができます。なお、電池の寿命は使用状態などによっても異なります。
- ●当社では電池の交換は行っておりません。
充電してもご使用いただけない場合や連続通話時間が短くなった場合には、寿命と考えられますので、新しい製品をご購入ください。なお、電池寿命か故障かどうか不明な場合には、当社サポートセンターまでご相談ください。

本製品を廃棄する場合の取り扱いについて

本製品には内蔵電池としてリチウムイオン充電池を使用しています。
リチウムイオン充電池はリサイクル可能な資源です。
本製品を廃棄する場合は分解せず、弊社修理センターにお問い合わせください。

【お問い合せ先】
株式会社アイ・オー・データ機器 修理センター
TEL.076-260-3617

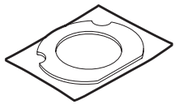
本製品は絶対に分解しないでください
感電などの危険があるため、絶対に分解しないでください。

箱を開けたら

- ☐ 車載ユニット（ケーブル長 1.5m）

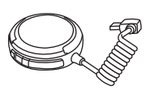
- ☐ マイク（ケーブル長 2.5m）

- ☐ 車載ユニット固定用両面テープ

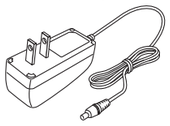


- ☐ クランパー × 3個

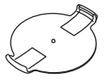
- ☐ 携帯アダプター



- ☐ 携帯アダプター充電用ACアダプター



- ☐ アタッチメント



- ☐ アタッチメント取付用両面テープ

- ☐ 粘着シート

※ 試供品です。アタッチメントを使わず、携帯電話に直接貼り付けられます。水で洗うことで何度でも貼り付けられます。

- ☐ 設置・使用ガイド
- ☐ 保証書 × 2枚
- ☐ 無線注意ラベル × 2枚
- ☑ 必ずお読みください（本書）

携帯アダプター側で操作する

電源について

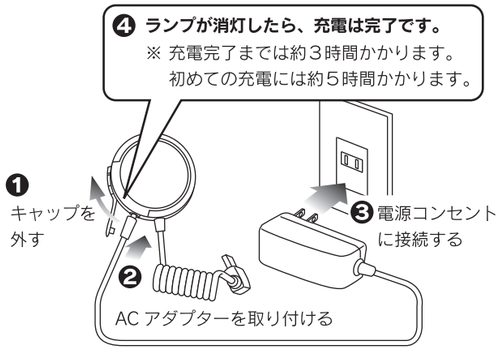
携帯アダプターには電源スイッチはありません。
携帯電話から音声出力（着信音や通話）があると、自動的に電源が入り、車載ユニットとの通信を開始します。
携帯電話からの音声出力が 45 秒以上途切れると、自動的に電源が切れます。

注意
- 着信しても電源が入らない(ランプが点かない)場合には、着信音量などを上げる必要があります。
- 通話中に相手からの音声が約45秒間途絶え、Bluetooth® 通信が切断された場合、すぐに音声が入っても再接続中のため、数秒間会話ができない状態になります。
- 待受時にヘッドセットの操作を行うと携帯電話によっては発信などの動作になることがあります。
- マナーモードなどの着信音が出ない状態では、本製品は動作いたしません。

プロファイル（通信形式）

携帯アダプターの通信形式は、**HSP** となります。

充電方法



ランプの状態

● **携帯電話との接続時**

ランプの状態	内容
3 秒間に 1 回点滅	Bluetooth® 機器検索中
1 秒間に 1 回点滅	車載ユニットと通信中
4 秒間に 1 回点滅	バッテリーの残量わずか

● **バッテリー残量確認時**

携帯電話に接続していない状態でペアリングボタンをすばやく 2 回押すことで、バッテリーの残量を確認できます。

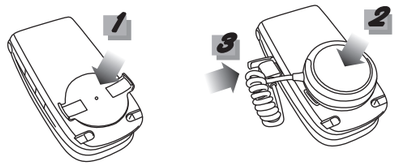
ランプの状態	内容
5 秒間点灯	バッテリー残量は十分
4 秒間に 2 回点滅	バッテリーの残量わずか

携帯電話への装着方法

1 携帯電話にアタッチメントを取り付けます。
両面テープで取り付けます。
※ 携帯電話のカメラやバッテリなどを装着するのに、邪魔にならないところへ取り付けます。

2 携帯電話アダプターをアタッチメントに取り付けます。
携帯電話アダプターのくぼみとアタッチメントのつめをあわせて取り付けます。

3 携帯電話のイヤホンマイク端子に携帯電話アダプターを接続します。
※ イヤホンマイク端子には向きがあります。無理に接続せず、向きをご確認ください。



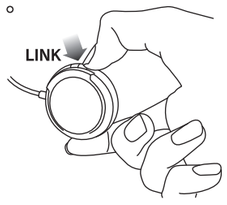
アタッチメントから取り外す
携帯アダプタを時計回りに回しながら取り外してください。

車載ユニットとのペアリング（関連付け）方法

ご購入時には、すでにペアリングされた状態です。
この操作は、通常必要ありません。
車載ユニットと通信できなくなったときに、この操作をお試しください。

1 車載ユニットの電源を入れます。
⇒ 約 40 秒ほどで車載ユニットのランプがオレンジ色に点滅します。

2 携帯アダプターのボタンを約 7 秒押します。



3 携帯アダプターのランプが点滅したら、ボタンを離します。

4 携帯アダプターのランプが消えたら、ペアリングは完了です。

困ったときには

車載ユニットで着信できない

原因 **携帯電話の着信音が小さい**
- 携帯電話の着信音量を大きくしてください。
- マナーモードなどの設定をしている場合は、解除してください。

原因 **携帯アダプターが充電されていない**
- 携帯アダプターを充電してください。

原因 **車載ユニットの電源が入っていない**
- 車載ユニットの電源を入れてください。
- 車載ユニットのヒューズが切れている場合があります。その場合は、ヒューズを交換してください。

原因 **携帯電話に正しく装着されていない**
- 携帯電話のイヤホンマイク端子を確認し、正しい向きで装着してください。

原因 **ペアリングが正しく行われていない**
- 【車載ユニットとのペアリング方法】をご確認の上、もう一度操作を行ってみてください。
- 他のペアリング済み製品が先にペアリングしている可能性があります。他のペアリング済み製品が近くにある場合は、それらの電源を切ってください。

車載ユニットから音が出ない

原因 **車載ユニットの音量が小さい**
- 車載ユニットの音量を大きくしてください。

通話相手に声が聞こえない・聞こえづらい

原因 **車載ユニットのマイク感度が低い**
- 車載ユニットのマイク感度を高くしてください。

原因 **マイクの位置・向きが正しくない**
- 車載ユニットのマイクが顔の方を向くように設置してください。

勝手に電話がかかってしまう

原因 **着信・通話していないのに、車載ユニットの着信ボタンを押した**
- 携帯電話機種によっては、リダイヤルや特定の番号に電話をかけてしまう場合があります。ご注意ください。

勝手に通話状態になる

原因 **携帯電話の自動着信機能が働いている**
- 携帯電話の取扱説明書をご覧になり、自動着信機能を解除してください。

仕様

■携帯アダプター部

コネクタ形状	平型コネクタ
通信方式	FH-SS(周波数ホッピング方式スペクトラム拡散)
変調方式	GFSK
対応プロファイル	GAP、SDAP、HSP
送信出力(最大)	+4dB(Power class 2)
受信感度(最小)	-75dBm
通信距離	10m(使用環境により異なります。)
電源	内蔵Li-ion電池を使用
連続待受時間(最大)	約110時間
連続通話時間(最大)	約4時間
外形寸法	41.00(W)x40.00(D)x14.00(H)mm(ケーブル、アタッチメント含まず)
質量	約17g
適合規格	Bluetooth® Specification Version 1.2, TELEC, JATE

■車載ユニット部

本体	電源	DC 12V/24V(シガーより供給)
	消費電流	200mA(最大)
	使用温湿度範囲	-20～70℃ / 20～85%(結露なきこと)
	保存温湿度範囲	-40～85℃ / 0～85%(結露なきこと)
	外形寸法	87.0(W)×89.2(D)×51.2(H)mm ケーブル長 1.5m
	質量	約230g(ケーブル・シガープラグ部含む)

無線部	通信方式	FH-SS(周波数ホッピング方式スペクトラム拡散)
	変調方式	GFSK
	通信距離	約10m
	送信出力	最大 +4dBm(Power Class 2)
	受信感度	最大 -80dBm
	適合規格	Bluetooth® Specification Version 1.1, TELEC, JATE
	対応プロファイル	GAP, SDAP, HFP, HSP

マイク部	感度	-45dB(1KΩ)
	周波数特性	100Hz～10KHz
	指向性	単一指向性(音声用)、無指向性(基準取得用)
	S/N比	30dB (min)
	外形寸法	22.0(W)×42.0(D)×16.0(H)mm ケーブル長 2.5m
	質量	約20g(ケーブル・プラグ部含む)

スピーカー部	出力音圧レベル	80dB/W/m
	定格出力	5W(最大)
	周波数特性	400Hz～3.4KHz

【ご注意】
1)本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2)本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3)本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
4)お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
5)弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
6)本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
7)本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
8)本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

● I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
● Bluetooth®は、米国Bluetooth-SIG, Inc.の登録商標であり、株式会社アイ・オー・データ機器はライセンスに基づき使用しています。
● その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/
2005.02.23 発行